

Canvas LMS

1. 概要

Canvas LMS は Web ブラウザを利用したオンライン授業支援システムで、既存の授業支援システム Blackboard（2023 年度終了）と並行して 2022 年に導入された。

例年、年 2 回（春夏）のアップグレード・累積パッチ適用を継続して実施している。

2. 利用状況

Canvas LMS が取得した監査ログデータをもとに 2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日までのデータを集計した。

2022 年度は先行運用期間、2023 年度は Blackboard との並行運用期間であったが、積極的に Canvas LMS を利用したことが推察される。9 割近い本務教員が Canvas LMS を利用しており、繰り返し周知をした成果が表れたことが伺える。

年度 身分	2022			2023		
	全教員	利用者数	利用率	全教員	利用者数	利用率
本務教員	620	144	23%	645	570	88%
兼務教員	1916	99	5%	1928	1169	61%
Total	2536	243	10%	2573	1739	68%

表 1：利用状況前年度比較

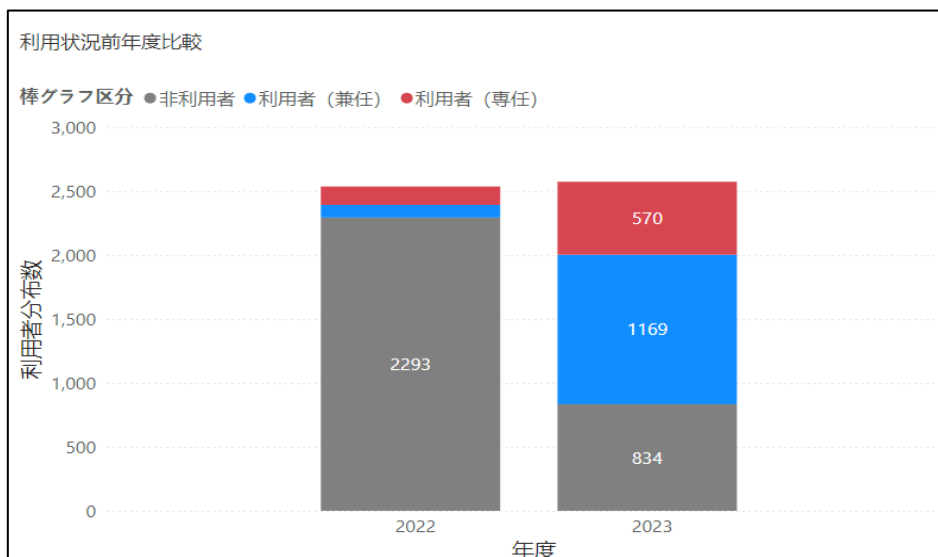


図 1：利用状況前年度比較

3. 学部別利用状況

2023年度は並行運用期間であったが、全学部とも6割程度は利用を開始した。

年度	2022			2023			
	種別	全教員	利用者数	利用率	全教員	利用者数	利用率
1.学部		1672	155	9%	1693	1138	67%
	スポーツウエルネス学部	8	3	38%	30	29	97%
	理学部	207	39	19%	202	159	79%
	法学部	134	14	10%	145	105	72%
	経済学部	139	11	8%	142	101	71%
	コミュニティ福祉学部	148	22	15%	140	93	66%
	異文化コミュニケーション学部	104	11	11%	107	70	65%
	文学部	351	22	6%	369	239	65%
	現代心理学部	134	10	7%	128	83	65%
	経営学部	136	6	4%	123	80	65%
	社会学部	185	12	6%	187	108	58%
	観光学部	126	5	4%	120	71	59%
2.その他		697	68	10%	718	513	71%
	立教サービスラーニングセンター	7	1	14%	8	8	100%
	日本語教育センター	31	2	6%	29	28	97%
	外国語教育研究センター	100	22	22%	106	91	86%
	グローバル教育センター	17	1	6%	26	20	77%
	グローバル・リハ・ラルア・ツ・ブ・プログラム運営センター	21	4	19%	21	14	67%
	学校・社会教育講座	86	15	17%	84	56	67%
	全学共通カリキュラム運営センター	435	23	5%	444	296	67%
合計	2369	223	9%	2411	1651	68%	

表2：学部別利用者数

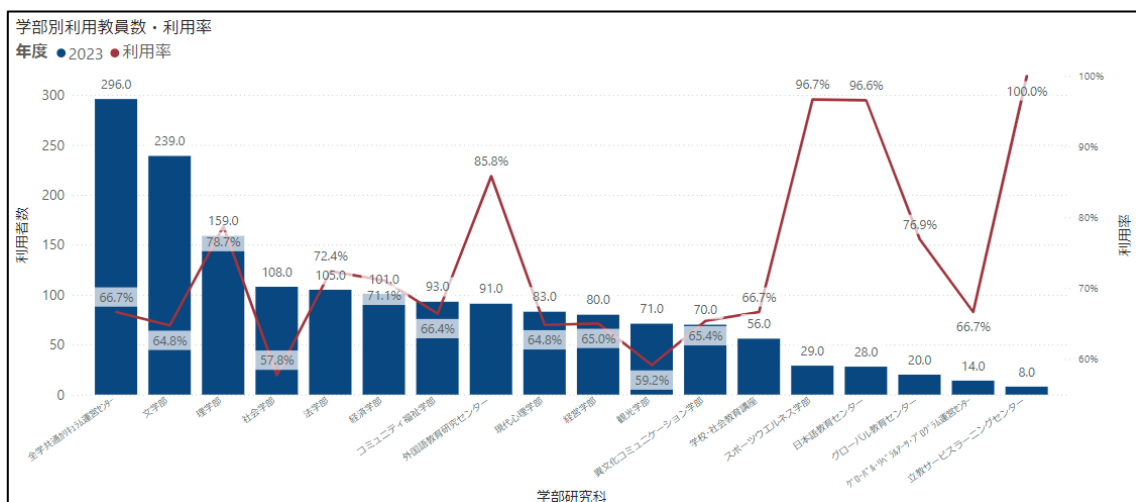


図2：学部別利用教員数・利用率

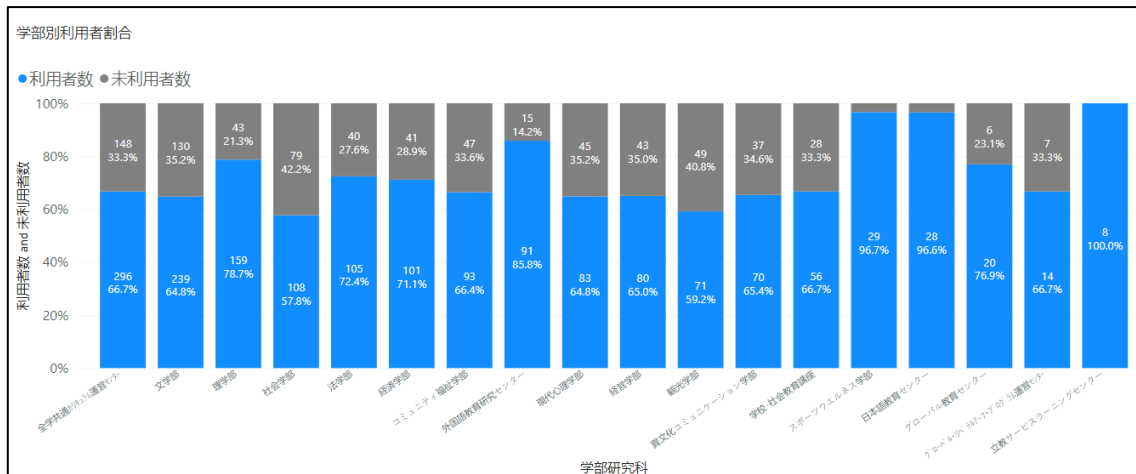


図 3：学部別利用者割合

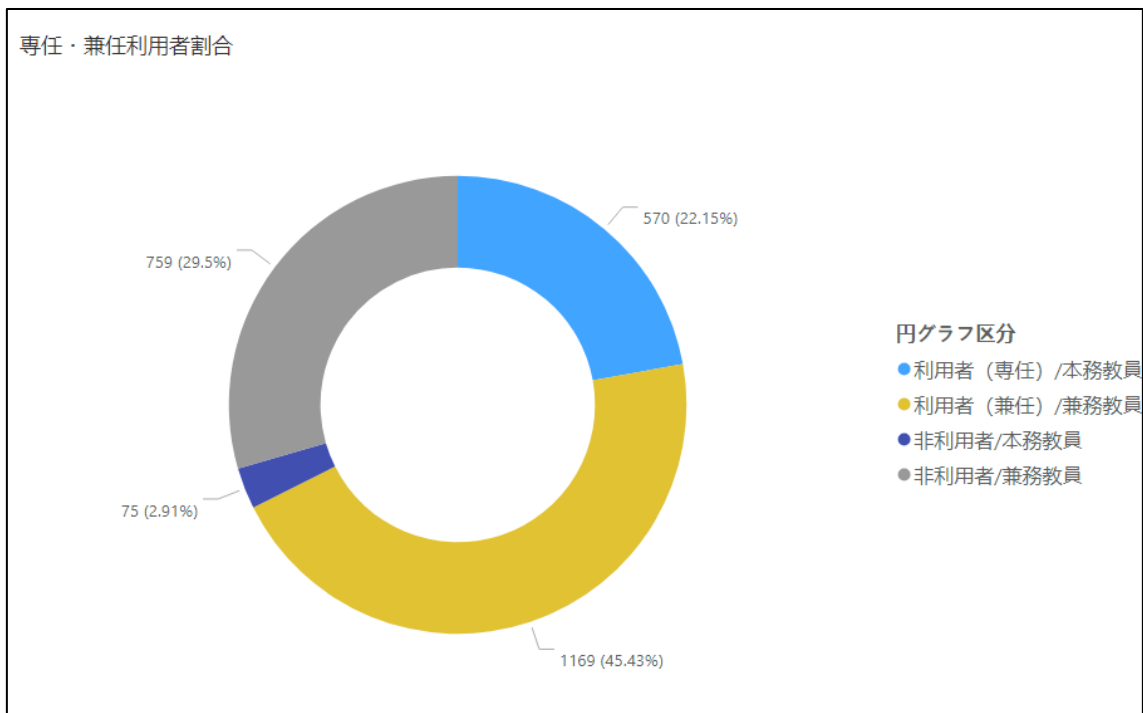


図 4：専任・兼任利用者割合

4. Canvas LMS 問合せ件数（※教員以外からの問合せも含む）

2023 年度は並行運用期間となり、Canvas LMS の使い方や Blackboard からの移行方法の問合せが多く寄せられた。総数としては 2021 年度 Blackboard の件数と同等で、新システムではあるものの極端に問合せが増えることはなかった。モダンな UI で直感的に操作できることや、コロナ禍を経験して教員学生ともツールに慣れたことが考えられる。

件数	
基準 種別. 年度	
種別	2023
電話	486
問い合わせフォーム	464
メール	360
対面	155
他※	5
Total	1470

表 3 : 問合せ手段別受付件数

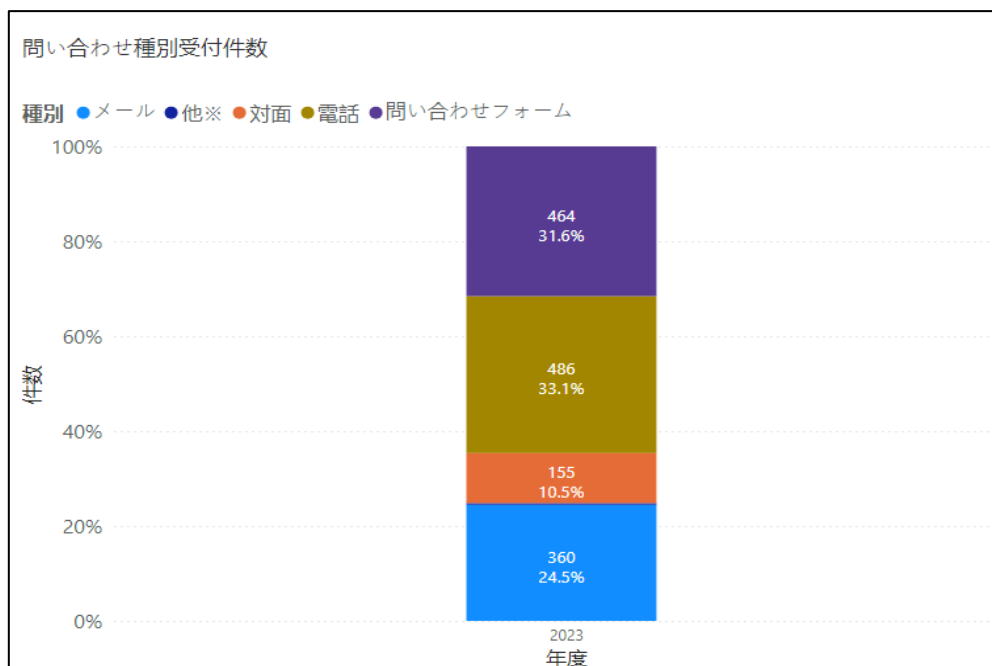


図 5 : 問合せ手段別受付件数

5. トピックス

(1). アップグレードメンテナンス

→作業日程：2023/8/14（月）

(2). アップグレードメンテナンス

→作業日程：2024/3/10（日）

6. 2023 年度のとまとめ

並行運用期間ではあったものの、約6割以上の教員が Canvas LMS を利用した。学部別にみても平均的に利用がされており、広く利用が進んだことが伺えた。

システムアップグレードに伴うメンテナンスを2度実施した。いずれも利用者側に影響のあるような大きな変更は設定で非活性にし、マニュアル等を整備したうえで機能のリリースを行った。

2023年度においては、想定を上回る利用があったため、リソース不足による授業影響が数回発生した。2023年度の実績を検証したうえで、2024年度の利用を想定し、同等のアクセス、負荷でも問題がないようリソースのベースアップを予定している。

2024年度からはレポート試験受付も Canvas LMS 上で行う想定のため、より一層のサポートの質向上を目指す。